

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金交付対象事業別概要

計画主体名	計画期間
みやぎけんとめし 宮城県登米市	平成25年度～平成28年度

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
産業経済部農村整備課	(0220)34-2709	(0220)34-2709	hosonseibi@city.tome.miyagi.jp

I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
定住等の促進に資する基盤整備の円滑化	2年	設定する年数は計画区域における区画整理事業着手までの年数とし、以下により求めることとする。 計画区域における区画整理事業着手までの年数(年) =事業実施後、区画整理事業の着手までの年数(年) = 2年
事業活用活性化計画目標の設定根拠 事業実施期間は平成25年度から平成26年度の2カ年である。 伊豆沼2工区地区の農地整備事業の着工計画年度を平成28年度と設定しているため、事業活用活性化計画目標を2年とした。		
事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
事業活用活性化計画目標の設定根拠		

II 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要望額 (千円)	交付額算定 交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性
基盤整備 (農用地等集約化)	伊豆沼2工区	経営休育成促進換地等調整 ・地区内農地等状況調査 ・合意形成促進 ・地区内アンケート調査 ・地域営農構想作成 ・換地設計基準作成	105.5ha	H25	登米市	10,000	5,247	52%	5,247	伊豆沼2工区の農業経営は水稻が中心であるが、農地の多くが10a区画と狭く、耕作地が分散しており、農道、用排水路の利便性も低く、経営規模の拡大に大きな障害となっている。 そのため、平成28年度から実施を計画している農地整備事業(県営)により、耕地の大区画化、用排水路の装工、農道の整備等を行うことで、生産性の向上と効率的な農業経営を図るとともに、担い手農家の育成及び農地利用集積により、水田農業の活性化を図り、地域住民の定住化を促進し、世帯数の維持及び人口減少の抑制を図る。
基盤整備 (地形図作成)	伊豆沼2工区	地形図作成	105.5ha	H26	登米市	10,000	5,247	52%	5,247	
合計						20,000	10,494		10,494	

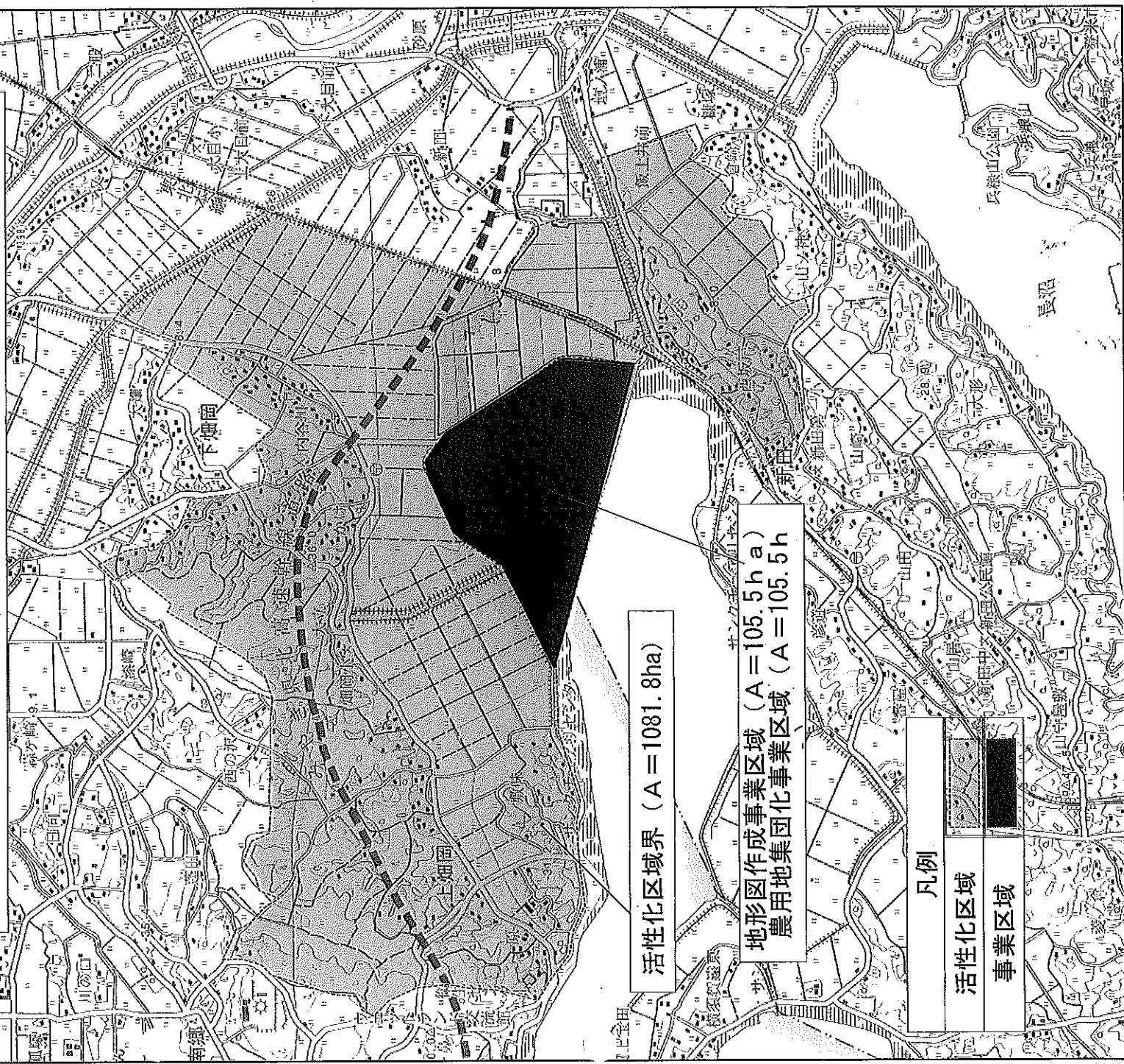
Ⅲ 他の施策との連携に関する事項

(交付対象事業別概要)

連携する施策名	事業メニュー名	地区名	連携する施策と交付対象事業の関連性等

平成25年度新規採択希望 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金

宮城県登米市・栗原市伊豆沼2工区地区 計画一般図



活性化区域界 (A = 1081.8ha)

地形図作成事業区域 (A = 105.5 h a)
農用地集約化事業区域 (A = 105.5 h)

- 凡例
- 活性化区域
 - 事業区域